

エアレーション・目土散布・擦り込みを一工程で!

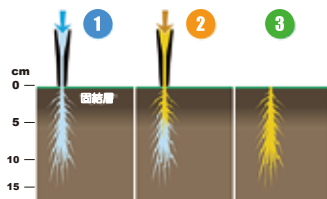
ドライジェクト

高圧水流でエアレーション、同時に砂や土壌改良材を
土壌中に充填する新しいタイプのエアレーション

予防 Proactiveのレギュラーと改善 Reactiveのマキシマス

2種類のドライジェクトで、目的に合わせたエアレーションを選択できます

ドライジェクトの仕組み



1 高圧水流で根圏に孔をうがちます。
同時に、土壌の固結を緩和します。

2 高圧水流の真空効果で乾燥した
砂・土壌改良資材を充填します。

3 数分の一秒でエアレーションホールを
うがつと同時に土壌改良資材を完全
に満たし、表面はプレー可能な状態
を保ちます。

レギュラータイプの跡

施工跡は小さく、
目立ちません



マキシマスタイプ使用

確実に砂や
土改材の柱を
作ります



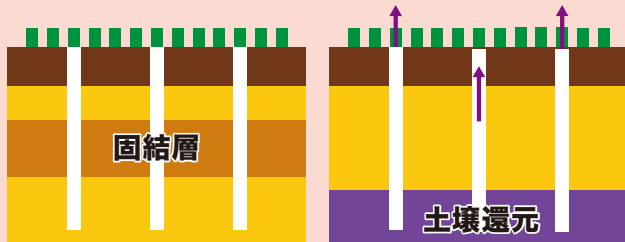
特長

- 土壌中に砂や土壌改良材を確実に充填します
- 施工跡が目立ちません (コアリングとの比較)
- 透水・通気改善効果が長く続きます (ムク刃エアレーション比較)
- 7月でも施工が可能です
- 強いグリーン面を維持します
- サッチ分解を促します
- 浸透剤や粒状殺菌剤の灌注も可能です
- 土壌中にあるカタビラ等の雑草種子を地表へ掘り起こしません

最長45cmのドリルが不透水層を直撃

ドリル/ドリル&フィル

ドリルエアレーションは通常の更新作業では届かない深い部分の土壌
に対して、エアレーション作業を行うことができます。深層部の土壌
固結、排水不良、土壌還元に対して高い改善効果を発揮します。
穴を空けるだけのドリルタイプと、穴あけと同時に穴の中に砂や土改材
を充填(フィル)するドリル&フィルタイプの2種類があります。



深層部まで水や空気の通り道確保します

ドリルエレーター仕様

- 最大施工深度: 450mm (ドリルタイプ)
200mm (ドリル&フィルタイプ)

- ドリル刃サイズ: $\phi 16\text{mm}$ 、 19mm 、 26mm

- 作業速度: $250\text{m}^2/\text{時間}$

※ 土壌条件や施工間隔によって施工時間や効果に差があります。



◀ 施工跡は
わずかです